

京都教区時報

カトリック京都司教区
広報委員会

京都市中京区
河原町通三条上る

TEL 075-211-3025

FAX 075-211-3041

honbu@kyoto.catholic.jp

<https://www.kyoto-catholic.net/>

第5回 善いサマリア人

2023年 司教年頭書簡
「コロナ時代を生きる信仰Ⅲ」
「わたしのシノダリティを創ろう」
を受けて



年頭書簡で述べられている通り、『善いサマリア人』のたとえ話は、「ともに生きること」(シノダリティ)を実現するための福音です。そして、コロナ禍は、このたとえについて学ぶ機会でした。

コロナ禍の経験を通じて、誰もが、倒れて助けを必要とする人となる可能性があることを実感しました。そして、倒れた人に簡単に近づくことができないという現実も体験しました。その一方で、たくさん善いサマリア人がいることに、あらためて気づかされました。仕事だから、報酬を受けているのだから当然だという考えがなくなりました。

瀕死の状態で倒れている人、その人を見て通り過ぎる人、そして、気の毒に思い、近寄り助ける人。私は今、自分がこの三人のいずれにもなりうると思っています。そして、自分に問いかけています。

もし、自分が道で倒れてしまい、助けをもらったら、心から感謝できるだろうか。そして、次は、自分が善いサマリア人になろうと思えるだろうか。もし、自分が困っている人を見て、通り過ぎる人になったら、心の痛みを感じるだろうか。今度こそ、自分が善いサマリア人となって、立ち止まって、助けようと決心できるだろうか。

もし、自分が善いサマリア人になれたら、自分のことを誇らず、神に、まわりの人に、心から感謝できるだろうか。善いサマリア人になれなかった人を責めないだろうか。

このたとえ話は、本当の幸いを得るには何をしたら良いかという問いかけへの答えです。そして、答えであるたとえ話は、倒れていた人の隣人になったのは誰かという問いかけで終わります。

だから、私も、自分に問いかけています。この問いかけを、まわりの人と分かち合っていきたいと思えます。そして、みんなで善いサマリア人になっていけたらと思います。一人で善いサマリア人になることはできないと思えます。たとえ話の善いサマリア人は、宿屋の主人の助けを必要としました。みんなが、いつも善いサマリア人になることはできません。

だから、エリコへの道をとともに歩みながら、みんな善いサマリア人になっていけたらと思えます。

シノドス担当司祭 一場 修
(京丹ブロック担当司祭)



旅人を見送るひとりの善いサマリア人

司教年頭書簡は

こちらから↓



6
2023

ミサを学ぶⅡ

ミサあなたとともに

〜新しい典礼について学ぼう〜

3月25日(土) 開催

報告 信仰教育委員会

信仰教育委員会では、これまで教区の小学新5・6年生対象に春休みを利用して、2泊3日の侍者合宿を行ってきましたが、コロナ禍で3年侍者合宿を行うことができませんでした。今年も残念ながら合宿は断念しましたが、昨年同様、しっかり感染対策をしながら、子どもたちにもミサについて学んでもらう機会を作りました。

西陣教会の聖堂をお借りし、ミサについて学びました。3年間侍者合宿がなかったことを考慮して、対象は、新5・6年生、新中学1年生から3年生とし、感染対策の観点から、開催時間は午後1時



半から3時半までの2時間としました。また、子どもたちの送迎をしてくださる保護者やリーダーのなかには、時間的に一旦帰ることができない方もいらっしゃるのので、希望者には参観していただくことにしました。

当日は、桜が満開の会場に、新小学5年生7名、6年生4名、中学1年生7名、中学2年生3名、中学3年生2名の23名が集まりました。前半は、新しい典礼について、小立花神父から、「何が、どう変わったのか」のお話がありました。後半は、侍者服に着替えて「侍者の役割」について考えた後、ウイリアム神父からミサで使う祭器具の名前と使い方の説明を聞きました。そして、十字架、香炉、香舟を持って行列し、実際に入堂の練習をしました。また、4つのグループに分かれて、香炉と香舟の使い方を練習しました。最後に、大塚司教からお話をいただき、修了証書を手渡していただきました。

参加者は、真剣にお話を聞いたり、練習をしたりして、短い時間ではありましたが、充実した「学び」をすることができました。この3年間、小教区のミサが無い期間があったり、ミサがあっても典礼奉仕ができない状態が続いていた教会があったりで、とても残念でした。また、昨年11月末にミサの文言が変わりました



が、そのことについて、子どもたちが学ぶ機会があまりなかったと思います。この「ミサを学ぶⅡ」で、子どもたちにも、少しでもミサや典礼奉仕について学んでもらう機会が持てたことは、意義深いことであると思います。ただ、半日のスケジュールでは、遠方の教会からは参加できない、内容も限られるなど、課題もあります。従来のように侍者合宿がいつか再開できる日がくるよう、祈りたいと思います。

***** 青少年委員会より *****



高校生会「春の集い」 桃山教会にて

3月31日開催



桃山教会で「高校生会春の集い」が開催されました。

午後2時に桃山教会に集まった8名の参加者は自己紹介をし、当日の福音箇所であるイエスが石で打ち殺されそうになる場面（ヨハネ10章31～41節）の朗読を聞き、イエスの受難と死を黙想する大切さを学びました。その後、キリシタン処刑の地である宇治川の河岸を歩いたり、長建寺境内のマリア灯籠を見学したり、月桂冠大蔵記念館隣接の「高山右近ゆかりのイエズス会伏見教会への小路」を訪れたりしながら、色とりどりの花が咲き乱れる春の伏見桃山界隈を散策しました。坂本龍馬ゆかりの寺田屋や黄桜河童資料館にも立ち寄りしました。



教会に戻り、ミサをささげ、最後に信徒の方の手作りのピーチババロアとピーチソーダをいただき、分かち合いました。素晴らしいお天気と満開の桜に恵まれる中、歴史ある伏見の街並みを巡り、この地での信仰の遺産に触れることができました。ご協力いただいた桃山教会の皆様、ありがとうございました。

今夏にも行事を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。



高校生会担当司祭 菅原友明



中学生会「春の集い」 Walk in spring

唐崎メリノールハウスにて

3月30日開催



春の中学生会を無事に開催することができました。前回の冬の中学生会に続き2回目の対面開催ということで色々準備してきました。

前回とは違い、春ということで新しく中学生になる仲間もいる中、どうしたら中学生達に喜んでもらえるのか、どうしたら皆で仲良くできるかなど、考えることは沢山ありました。

そんな中、みんなで体を動かして親睦を深められたらと思い、屋外でのレクリエーションの時間を多めにとることで、話したことがなくても仲良くなれるキッカケになればと思いました。分かち合いでは、ヨハネの15

章を元に神父様にお話していただき、新学期ということもあり、友情をテーマに話し合いました。中学生みんなそれぞれ意見を出し合ってくれて、とても意義ある分かち合いができたと思います。



中学生会リーダー 西院教会 唐橋征太

「京都 みんなで捧げるミサ」の裏側

「京都 みんなで捧げるミサ」をご存じでしょうか。

2020年、コロナのためにミサが中止になり、いち早くミサのオンライン配信が始まった教区もありました。しかし京都教区は、オンライン？ YouTube？ どうやって？ だが？…

の世界で、知識も技術も遅れていました。しかし、いつになったらミサができるようになるのか一向にわからない、暗闇の中にいる状態が続いている時、ビデオカメラを購入し、カルメル修道会に掛け合い、手探りでミサの配信が始まりました。2020年7月、それ以降、主日のミサを配信しています。

コロナが落ち着き、京都教区でもミサが再開され、ようやく歌の制限もなくなりました。しかし、様々な理由でミサに参加できない人たちのことを考えて、ミサの配信



を続けていま

す。カルメル修道院の聖堂が映

り、最初から最後まで一本撮りのミサ、司式司

祭以外映ることもありません。どのよう

にミサが行われ、録画されているので

でしょうか。復活節第3主日のミサを取材

させてもらいました。

☆☆☆☆

衣笠にある女子跣足カルメル修道会は

観想修道会ですので、シスターは祈りの中

で一日を過ごしておられます。ミサの動画

で映っている祭壇のあるところは、外部聖堂

と呼ばれます。動画では映りませんが、その奥

が内部聖堂と呼ばれ、禁域となっております。10人のシスター

方は、内部聖堂でミサに与っておられました。

動画を撮影するためのビデオを、ちようど外部聖堂に近い内部聖堂の端に設置し、ミサの開始に合わせそのスイッチを押して



ターです。

この日は北村神父の司式ミサでした。神父の穏やかな声と、シスター方の晴れやかな声が聖堂に響くと、外からウグイスが声を合わせてさえぎり始めました。

美しい声の朗読や聖歌の歌唱を生で聞くと、パソコンで視聴する動画では感じられない感動に満たされました。オルガン奏者のシスターは、90歳を超えておられる

そうです。ベテランのオルガニストを中心

に、心をこめて奉仕し、ミサを祝って

おられるということが伝わってきました。

「京都 みんなで捧げるミサ」が続いているのは、カルメルのシスター方がこう

してご奉仕してくださっているおかげだと、しみじみ感じました。

この日のミサの動画を、耳を澄ませて

ご視聴ください。ウグイスの鳴き声も聞こえてきます。

取材・広報委員会

「京都 みんなで捧げるミサ」の動画の視聴はこちらからどうぞ



トマのつばき

かつて人は詩人だった

かつて季語を語れば、月日を語る必要がなかった。折々の時の流れの中で、人は詩人だった。

詩は人を敬虔な祈りの人とする。自然の中に神の思いを読み取った。

花にも言葉があった。散る花に風情を感じ、祈りを感じていた。そこにはあはれとも思いう静けさがあった。ところが今はどうだろう。

気候変動、環境破壊、砂漠化……

自然が悲鳴をあげている。その原因はどこかにある。胸に手を当て黙すれば。誰にもわかるはず。

だけどもあまりの忙しさに、喧騒に、心の祈りを、静けさを忘れてしまった人間。ああわれ。われ、あはれ。

村上透磨

2月18日に帰天された村上透磨神父は、病院のベッドの上で、「トマのつばき」の原稿を書いてくださったいました。遺稿を掲載します。

広報委員会



京都カトリック青年センター 開館日時について

京都カトリック青年センターは、青年の諸活動をバックアップするための機関です。

青年活動に興味がある方や、京都に来たばかりの青年の方が、京都教区の青年とつながることができるようお手伝いいたしますので、是非ご連絡ください。

また、青年センター主催のイベントなどについての情報を、HP、Facebook、Twitterにて発信いたしますので、ご覧ください♪

《青年センター開館日》

水曜日 10:00~12:00
木曜日 13:00~16:00

* 青年センターは、西陣教会の敷地内にある西陣青年会館の3階にあります。

つながりネットワーク 深のようコミュニケーション

京都カトリック 青年センター

教区中学生会
中学生を対象とした会費を
徴し、年に行っています。
リーダーとして、
実務が企画・運営を
しています。

**青年センターがより
いよばに**
行事の報告や
青年・青年関係によるコラム
などをお届けいたします。
集まる・集約し、
小冊子に編集したり、
オンラインで発信したり
しています。

一日企画
気軽に参加できる、
一日限りの行事です。
映画鑑賞・遠足・祭典・聖書
についての祈りなど、
その場に合わせた様々な
内容を考えられています。

**青年の強い
絆**
YBS
聖歌をまとめた、
オリジナルのCDや分冊を
贈り、大切にしています。

**青年委員会
青少年交流会**
年一回 教区内各地区の教会を
訪問し、開催しています。
青年センターの活動や
運営について話し合ったり、
その地区の成長と交流したり
しています。

青年センターの施設
〒600-0004 京都府京都市上京区新町第一条上ル一乗院町152-1 カトリック西陣教会内
TEL: 075-414-3339 E-mail: kcc@kcc.kyoto-catholic.jp

QRコード

青年センターあんでな

大塚司教の予定

最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。
右記のQRコードからも確認できます。



お知らせ

教 区

信仰教育委員会

青年のための黙想会

日 時：7月8日Ⓡ 13:00～17:00
場 所：聖ドミニコ女子修道会京都修道院
(京都市上京区河原町通今出川下ル梶井町)
講 師：小立花 忠神父(京都司教区)
対 象：青年(18～35歳 高校生不可)
参加費：500円
問合せ、申込み：信仰教育委員会
申込締切：6月25日Ⓡ
QRコードより詳細をご覧ください



聖書委員会

オンライン聖書講座

ともに歩んでくださる神
—シノダリティの心をもとめて—
第1回「旅するもの」5月11日から3か月配信
講師：大塚喜直司教(京都司教区)
第2回「旅の始まり」5月25日から3か月配信
講師：一場修神父(マリスタ会)
第3回「この道を歩む」6月8日から3か月配信
講師：菅原友明神父(京都司教区)
第4回「主の道を生きる」6月22日から3か月配信
講師：西経一神父(神言修道会)
要申込、有料
QRコードより詳細をご覧ください



広報委員会

Fax：075-366-6679
メール：honbu@kyoto.catholic.jp
教区時報8月号の原稿締切日は6月19日Ⓡです。

ブロック

奈良ブロック

2023年度聖書講座(対面講座)

ともに歩む教会～マタイ福音書による～
われらと共にいる神(インマヌエル)
第3回「小さな人びとの中のインマヌエル」
日 時：6月10日Ⓡ 10:30～12:00
場 所：奈良教会
講 師：奥村 豊神父(京都司教区)
会 費：1,000円受付にて
信者でない方、学生は無料
問合せ：090-4485-9968 シスター服部
(電話時間は必ず19:00～21:00)

滋賀ブロック

安土セミナリヨ記念ミサ

日時：6月17日Ⓡ 13:30～15:30
雨天の場合は7月1日に延期
場所：安土セミナリヨ公園
近江八幡市安土町下豊浦
公共交通機関：J R琵琶湖線「安土」下車
徒歩20分
駐車場：臨時駐車場を準備しますが、なるべく公共交通機関をご利用ください
問合せ：090-3168-6285 尾崎統一
(安土セミナリヨ記念ミサ実行委員会)

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

祈りと聖歌の集い 6月11日Ⓡ 14:00
河原町教会聖堂 一般の方も参加自由
問合せ：075-951-4283 則武 隆
コーロ・チェレステ(女声コーラス)
練習 6月8日Ⓡ 10:00 22日Ⓡ 10:00
河原町教会 2階楽廊
問合せ：075-701-3303 岡田久美

聴覚障がい者の会・京都グループ

手話表現学習会(聖書と典礼)
日 時：6月20日Ⓡ 13:00～15:00
場 所：希望の家地域福祉センター
京都市南区東九条東岩本町31-10
問合せ：Tel・Fax：075-723-1135 傳 裕子
心のともしび ラジオ番組案内
(全国34局で放送)

K B S 京 都 Ⓡ～Ⓡ 朝 5:55

Ⓡ 朝 5:15

ラ ジ オ 関 西 Ⓡ～Ⓡ 朝 5:00

Ⓡ 朝 6:05

毎 日 放 送 Ⓡ～Ⓡ 朝 5:45

Ⓡ 朝 4:55

6月のテーマ「ふれあい」



点訳版「京都教区時報」〈無料〉をご希望の方は
『カ障連大阪フレンドリー点字部』笠松彦彦さん
までお申込みください。

Tel・Fax/072-722-0271

